岩花 寛之 議員

子育て支援に対する考えは

坪根町長

民間、親、学校との連携強化を図る

問 放課後児童クラブの現状は。

垂水（英）子ども未来課長　2月末現在、五つのクラブの合計で136人。南吉、西吉、大平の3地区に低学年用を3クラブ、西吉地区と大平地区に高学年用を2クラブの合計5つのクラブを整備、運営している。

問 南吉地区の彩葉分譲地の影響など、今後の推移予測と対策は。

垂水（英）課長　次年度は対象児童数約430名に対し、186名の申し込みがあり、年度当初から定員数に迫る状況にある。子育て応援九州一を掲げた中で、新たな施設整備を早急に具体化するべく、現在鋭意検討を進めている。

問 総合計画でも重点戦略の1番目に子育てと教育環境の充実を挙げている。早急な問題解決が必要では。

垂水（英）課長　受入れ定員、タクシーでの運搬、兄弟で別々のクラブへの迎え解消などの要望も上がっており、施設整備について議会に諮る機会が近づいている。

問 施設整備の面では、十分なスペースの確保や園庭の整備などに対して職員、保護者、児童からの要望があるのでは。

垂水（英）課長　建設の経緯により各クラブで違うことが課題であると認識しており、解消できるように検討を進めていきたい。

問 民間委託に期待する効果は。

垂水（英）課長　支援員の人材確保による安定的は保育運営と保育サービスの質の向上を期待している。

問 定住促進を図る上でも子育て支援が最重要と考えるが町長の考えは。

坪根町長　子どもの教育が多様化する中、立派な社会人を育てるために民間の知恵も借りながら親と学校と行政が連携し、より良い教育の形を模索していきたい。

子育て支援センターの運営は

問 子育て支援センターの運営状況と課題は。

垂水（英）課長　平成21年度に開設して以来、親子を含めて年間延べ2千から3千人の利用をいただいている。相談実績としては年間約30件程度。イベント実施は情報交換の場も含めて年間75回、月6回程度行っている。

問 町としては現状の運営に満足しているか。

垂水（英）課長　利用者からは一定の評価はいただいていると考えるが、より良いイベントの開催などさらに努力していきたい。

問 様々な問題や幼児虐待などで、センターを利用していない家庭への訪問や乳幼児検診などの実施状況は。

垂水（英）課長　家庭訪問に関してはここ数年全戸を回り直接親やご家族に面談している。乳幼児健診に関しては現在9割にとどまっている。

問 乳幼児健診に来られていない1割のフォローが虐待防止の観点からも大切だと感じるが、歯科検診などの実施は。

垂水（英）課長　歯科に関してはシーラント事業を年4回行っている。

問 虫歯発見後の治療の有無が親子問題把握のきっかけにもなると思うが。

道免教育長　小学校では年1回の歯科検診を実施しており、治療の結果も学校が把握している。できていない家庭については養護教諭などから受診の働きかけを行っている。

問 体育館建替えに向けての予算案も出ているが支援センターの移設などの検討を行う予定は。

岡崎総務課長　具体的ではないが総合的な子育て支援の向上を図る上で、げんきの杜との有機的連携を考えている。どの機能を移管するかは今後の検討課題として町長より指示を受けている。

議会への説明資料の拡充を

問 過去2回、論点整理に必要な説明資料の拡充を要望しているが、まだまだ不十分であると感じるが。

岡崎課長　様式の統一を行った上で、一定の説明資料の提供はできていると考えているが、議員の要望とのずれの解消には、議会側として議会基本条例制定の協議、行政側としても様々な検討が必要になると考えている。

問 議会基本条例の有無ではなく、議案の審議・決議をするに当たっての資料（提案に至る背景や目標、結果の検証）の提示がなければ、地方創生の肝であるPDCAが回せず、納得できる正当な判断ができないと感じるが。

岡崎課長　議会側で議長を通じて提言があれば検討していけると考えるが、外部組織の関係する事案や、様々な特殊事情があることも理解してもらいたい。

廣﨑 誠治 議員

大池公園園路整備今後の費用額は

永野開発交流推進課長

2019、20年度で3億1,430万円

問 第1段階園路整備に今後どれくらい費用をかけるのか。

永野開発交流推進課長　2019年度当初予算で2億6230万円、2020年度が概算で5200万円程度かかり、約3億1430万円である。

問 基本構想と事業費の比較をして、どれくらいの違いがあるのか。

永野課長　基本構想時の園路整備の概算工事費は、4億9095万2000円となっている。平成28年度から2020年度までの園路整備の工事費は、たまり場の工事費を含め約7億7692万4000円が見込まれている。その差額は、約2億8000万円程度の増額になる。

問 遊歩道はどういう目的で建設するのか。

永野課長　バリアフリー対策などの再整備を行い、住民や町外からの来園者が安心して利用できる憩いの場、また人々の集う交流の場とすることが、この遊歩道建設の目的と言える。

問 前議会では平和記念事業との関連で、人道橋をかけるつもりはないと答弁をしたが、間違いはないか。

永野課長　そのときの答弁のとおり間違いはない。

問 たまり場の議員配付変更資料で大池公園の基本構想では、第2段階の前倒しと思うが。

永野課長　平成29年の町政懇談会などで示したように、現在の整備方針については高速道路との連結はしない。施設についても民間施設を誘致するということに変更をしており、あくまでも園路整備の一部と考えている。

▶渇水時の大池

問 大池は農業用ため池で昨年のような干ばつのときは水面が下がり、たまり場の親水テラスなどの基礎がむき出しになるのではないか。以前の答弁では、東友枝川から水を引くための水量は大丈夫と答弁をしたが、昨年の干ばつ時、川も干上がり、水を引いていない状態だった。かえって景観が悪くなるテラスは必要ないのではないか。

永野課長　大池は農業用ため池で、農地に水が要る場合は、あのような状態が起こると思うが、今回の施工の基礎はしっかり塗装などを行い、景観のいいものをつくりたいと考えている。

少年海外体験学習は

問 この事業でいつまでタイ王国に行くのか。世界は大変広いと思うが、他の国へ行くという選択肢はないのか。

村上教務課長　現段階で他の国へ渡航先を変更する予定はない。

問 町長が在任中はずっとタイ王国に行くという形で認識していいのか。

道免教育長　姉妹校締結の期限としては5年間ということである。その後については、相互で協議したいと考えている。

問 今年度の計画では、13人の職員で引率するようになっているが、海外旅行の専門家でない職員が引率するのは、負担が大きいのではないか。

村上課長　職員が海外に団員を引率するということは、同時に無事に団員を連れて帰国するという責任が生まれる。個人で遊びに行くわけではないので、多少の緊張やプレッシャーはあると考える。

問 体調を崩したり精神的な負担を訴えている職員などはなかったか。

村上課長　体調を崩す職員などは出ていない。精神的に負担を来すというような声も聞いていない。

げんきの杜の運営は

問 げんきの杜の浴場、トレーニングルームの毎月のランニングコストはどれくらいか。また、利用料は。

村上課長　毎月のランニングコストは、平成29年度実績では、約157万円。利用料は、毎月の収入として約136万円である。

問 げんきの杜の浴場やトレーニングルームは建設してから何年経過しているか。

村上課長　平成12年に建設し、19年が経過している。

問 改修の予定はあるのか。

村上課長　関係課と検討委員会を立ち上げ、浴場改修も含め検討をしている。